

演題発表に関すること

演題発表形式

口演・示説（ポスターセッション）のいずれかを選択できます。
ただし、演題内容によっては希望以外の発表形式を勧める場合がありますのでご了承ください。
下記の形式を参照の上、演題申込書を作成してください。

1 口演

口演発表はパワーポイントなどを使用して研究成果を直接説明していく発表形式です。

- 1) 1題につき、発表時間は7分です。
- 2) データ容量はできるだけ軽く、スライド15枚程度にしてください。
アニメーション効果および動画は使用禁止とします。

2 示説（ポスターセッション）

示説発表は、パネル掲示という方法で伝達される発表形式を特徴とします。
示説では、興味ある発表演題に対して、参加者が研究者と身近に質疑応答、討論、情報交換のできる利点があり、口演では伝達しにくい研究内容や研究成果を共有し、看護実践への参考とすることが可能です。示説発表は視覚、触覚、聴覚など五感に訴えるものがより効果的です。

- 1) 1題につき、発表時間は7分です。
また、自分の発表群の時間内はパネルの前で待機し、適宜質疑を受けてください。
- 2) ポスターの作成について
 - (1) 1演題につき 縦140cm×横80cm程度のパネルを準備いたします。詳細については、「発表について」の通知で確認してください。
 - (2) 文字は原則として横書きとし、必ず表題（副題）、氏名（発表者・共同研究者）、所属を記載してください。
 - (3) 表現方法は、全体の視覚効果により参加者の注目を喚起するように、イラスト・写真・図形・文字配列を含め2～3m離れても見えるような表示の工夫をしてください。文字の1文字は直径2cm以上にすると見やすくなります。
 - (4) 写真による掲示方法で人物が対象になる場合は、必ず対象者の承諾を得るとともに、プライバシーの保護・人権擁護が必要です。